

● 4年ぶりに防災訓練を実施(防犯防災部会)

▼参加者のみなさん

天候に恵まれた10月28日(土)に、4年ぶりの開催となる防災訓練が中神小学校を会場に行われました。「あきしま・街づくり市民会議・なかがみ」の防犯防災部会が、第5・第6ブロック区域の各自治会と共催して実施したものです。

自治会の防災旗の下に集まった参加者は70名ほどで、コロナ前に比べると少なかったのは残念でしたが、親子連れの参加もちらほら見受けられたのは今回の特徴の一つと言えます。



▲煙体験

また、スタンドパイプは各自治会に備えられているものですが、消火栓への接続の仕方やホースのつなぎ方などの説明を受けた後、消火栓から水を送る人とホースの先で放水する人に分かれ、「放水よし!」の掛け声に合わせて連携よく取り扱っていました。勢いよく放水されると、「おおー!」と喚声が上がっていました。

今回参加者が少なかった分、全員がそれぞれの訓練を体験できたようで、参加者にとっては幸いだったのではないのでしょうか。

当日は、昭島消防署大神出張所と昭島市消防団第一分団の皆さんのご指導により訓練を行いました。その内容は、①消火器取扱訓練、②煙体験、③AEDの使い方、④スタンドパイプ取扱訓練で、参加者を4つのグループに分け、それぞれの訓練を順番に体験しました。「火事だー!」の掛け声とともに消火器を操作して水を噴射したり、煙(訓練では無害のもの)の中を通り抜ける体験をしたり、人形を使って実際にAEDの使い方や人工呼吸の仕方を学んだり、みんな真剣に取り組んでいました。



▲AED

訓練終了後に、市が備蓄倉庫に保管し定期的に入れ替えている備蓄食糧の、それまで保管されていた分を、各ご家庭での災害時の備蓄品の参考にしていただこうと、試食用として参加の皆さんに配付(今回はアルファ米とクラッカー)しました。

訓練の講評では、大神出張所の伊藤所長から災害時における地域防災力の強化を期待しているとお話がありました。今回のような防災訓練を繰り返すことで、地域の皆さんの防災意識を高める機会となり、地域の防災力の強化へとつながっていくことを願っています。(防犯防災部会 部長 / 北村実)



▲スタンドパイプ